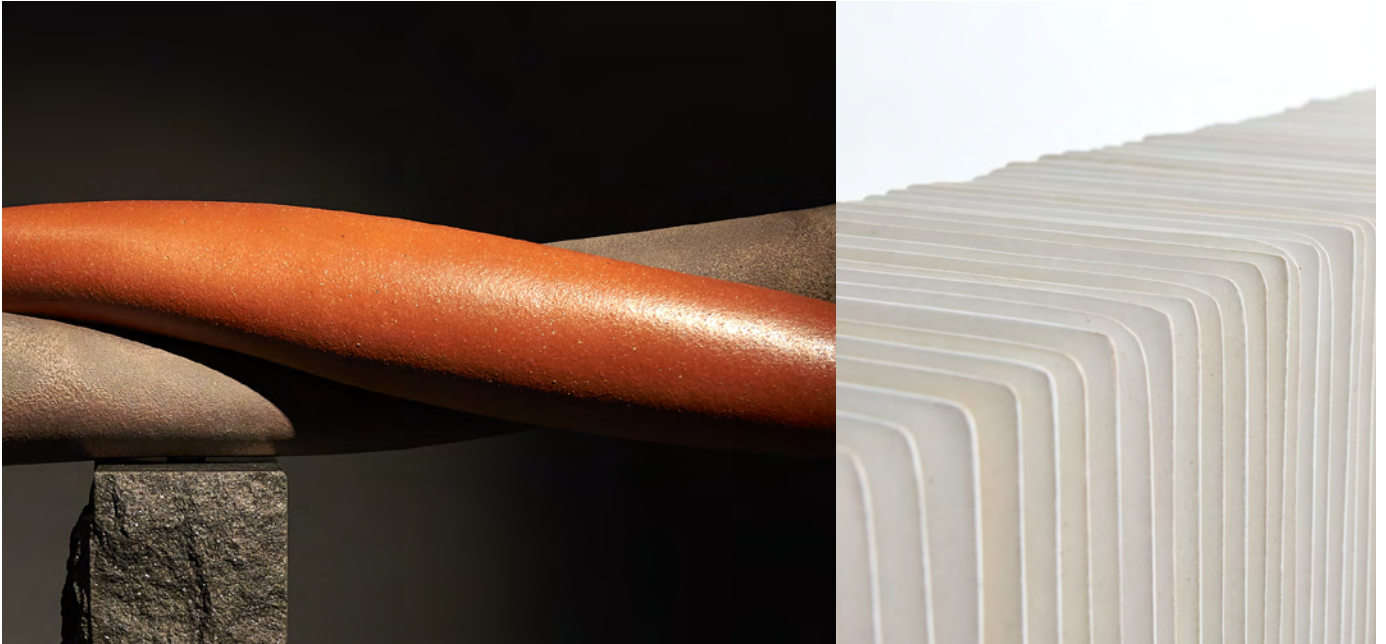


© ACG プレスリリース - 展覧会開催のご案内 -



OAP彫刻の小径2022-2024

## 市野雅彦・坪田昌之「Twist」

OAP Sculpture Path 2022-2024: *Masahiko Ichino and Masayuki Tsubota "Twist"*

私たちの周囲では様々な性質を持つものが隣りあい存在しています。一見すると関係のないように思えることも、案外すぐ近くで、あるいは遙か遠いところで影響を与え合いながらひとつの世界を共有しているかもしれません。

本展では「Twist」をキーワードに、陶芸家 市野雅彦の構想に基づいて、市野と彫刻家 坪田昌之が共同制作に挑みます。両者はこれまで、素材の持つ特徴や文化的背景、感触を手掛かりに作品を制作してきました。素材に宿る気配を読み解き、特性を引き出すことで造られた作品は、自然物や人類の文明への畏敬の念が込められています。今回は、土・石・木・金属を素材に用いて、互いの専門分野をまたぎ、造形感覚や技術を共有することで化学反応を起こすように作品が生み出されます。異なる素材が共存する姿を自然と人の営みが同居する「彫刻の小径」で体感することで、私たちの日常を形づくる様々な巡り合わせへ思いを馳せていただければ幸いです。

## ■ OAP彫刻の小径について

OAP彫刻の小径は、天神祭でも知られる大川を臨む水辺のプロムナード沿いに位置します。一年半毎にテーマを設けて展示替えを行い、親しみやすくをモットーに国内外で活躍する気鋭作家の作品を紹介する野外彫刻展を開催しています。

【展覧会概要】 展覧会タイトル：OAP彫刻の小径2022-2024

市野雅彦・坪田昌之「Twist」

OAP Sculpture Path 2022-2024: *Masahiko Ichino and Masayuki Tsubota "Twist"*

会 期：2022年 11月3日 [木] - 2024年 4月末

会 場：OAP彫刻の小径 (OAP公開緑地内、大川沿いのプロムナード)

主催：アートコートギャラリー (株式会社八木アートマネジメント)

協賛：三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、三菱地所プロパティマネジメント株式会社



【お問い合わせ】アートコートギャラリー [担当: 八木・灰田] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com www.artcourtgallery.com

OAP彫刻の小径2022-2024

## 市野雅彦・坪田昌之「Twist」

OAP Sculpture Path 2022-2024: Masahiko Ichino and Masayuki Tsubota "Twist"

## ◆ 市野雅彦 Masahiko Ichino

市野雅彦は、約35年にわたる活動のなかで、丹波の伝統と精神を受け継ぎながらも様々な技法や表現に挑戦し、一つのスタイルに留まらない独創的な制作を続けてきました。制作初期には洗練されたフォルムに繊細な装飾模様を彫り込んだ作品を手掛け、'95年に当時史上最年少の34歳で日本陶芸展最優秀作品賞を受賞。'90年代後半からは、丹波伝統の灰釉と赤土部(あかどべ)による二つの形態が組み合わさった作品など、土のかたちや質感にこだわった自然で自由な造形を目指すようになります。近年では不純物の多い土を好んで用い、内側からの膨らみや亀裂など土の性質により焼成時に引き起こされる思いがけない現象を享受し、手仕事と自然の摂理が共存するかたちを生み出しています。大地の呼吸にじっと耳を澄ませ寄り添うように創られた市野の作品は、瑞々しい生命感とともにユーモラスで愛らしい表情を湛えています。

1961 兵庫県丹波篠山市生まれ  
1981 嵯峨美術短大陶芸科卒業  
今井政之氏、父・初代 市野信水に師事  
1988 独立、大雅窯を築く [2015年より大雅工房に改名]

## ■ 受賞

2011 兵庫県文化賞  
2007 パラミタ陶芸大賞展 準大賞  
神戸市文化奨励賞  
2006 2005年度日本陶磁協会賞  
2000 兵庫県芸術奨励賞  
1995 日本陶芸展 大賞・秩父宮賜杯

## ■ 近年の主な個展 \*2015年以降

2021 市野雅彦陶展 諦観—今を生きる—(阪急百貨店、大阪)  
丹波からTAMBAへ—市野雅彦展(緑ヶ丘美術館、奈良)  
2016 うつろのかたち—市野雅彦・陶展UTUWA(パラミタミュージアム、三重)  
市野雅彦展—土のおもむくま(LIXILギャラリー、東京)  
2015 2015年度著名作家招聘事業 市野雅彦「—軌跡、丹波にて」(兵庫陶芸美術館)

## ■ 主なグループ展 \*1999年以降

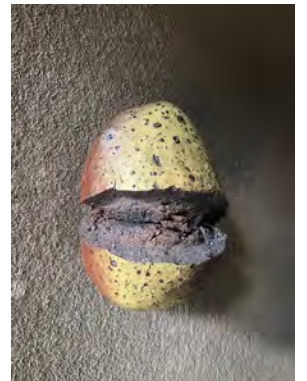
2022 未来へつなぐ陶芸 伝統工芸のチカラ展(国立工芸館、金沢 ほか巡回)  
2021 近代工芸と茶の湯のうつわ—四季のしつらい—(国立工芸館、金沢)  
2020 国立工芸館石川移転記念館—工の芸術—素材・わざ・風土(国立工芸館、金沢)  
2017 三越美術110周年 HOPES 次世代百選展(日本橋三越本店、東京)  
2016 近代工芸と茶の湯 II(東京国立近代美術館工芸館) ['15]  
焼締—土の変容展(国際交流基金主催、アメリカ/カナダ/ベルギー/ドイツ/エジプト/イタリア他 12ヵ国巡回 ~2020)  
2015 茶—今日のしつらえ CHA:Arrangement Today 「森の茶会」への招待(札幌芸術の森工芸館)  
2014 兵庫陶芸美術館特別展「アイデンティティとオリジナリティ—現代陶芸新収蔵品展—」(兵庫陶芸美術館)  
2013 現代陶芸—表現の在りかへ(東広島市立美術館)  
あれもやきもの これもやきもの 陶芸の森アーティスト・イン・レジデンス 20年の歩み(滋賀県立陶芸の森)  
2012 現代の造形—Life & Art—ふれる器(東広島市立美術館)  
2011 茶陶—造形と意匠にみる現在性(ギャラリーヴォイス、岐阜)  
現代陶芸の地平を拓く(兵庫陶芸美術館)  
2010 現代工芸への視点—茶事をめぐって(東京国立近代美術館工芸館)  
2008 現代の陶芸—Life & Art—陶で彩る(東広島市立美術館)  
光州ビエンナーレ日韓現代陶磁器展(韓国民族博物館、ソウル)  
2007 兵庫の陶芸—いま、ここに何かが在る(兵庫陶芸美術館)  
現代陶芸への招待—日本とヨーロッパ(兵庫陶芸美術館)  
2004 山陽・山陰路の現代陶芸展 V(東広島市立美術館)  
2003 現代韓日陶芸展(錦湖美術館、韓国、ソウル)  
2002 アジア国際現代陶芸展(台北県立鶯歌陶芸博物館、台湾)  
2001 アジアのアート展(ケイティ・ジョーンズ・ギャラリー、ロンドン)  
2000 国際陶芸交流展(中国美術館、北京)  
1999 日本の陶芸展(国際交流基金主催、南米巡回)  
1998 NHK衛星放送やきもの探訪展 98(日本橋高島屋、東京 他)

## ■ パブリックコレクション

東京国立近代美術館/兵庫陶芸美術館/東広島市立美術館/滋賀県立陶芸の森/田部美術館(島根)/丸沼芸術の森(埼玉)/国際交流基金/ブルックリン美術館(アメリカ)/ニューオリンズ美術館(アメリカ)/クロッカーアート美術館(アメリカ)/ロサンゼルスカウンティ美術館(アメリカ)



「市野雅彦陶展 諦観—今を生きる—」阪急百貨店、大阪 | 2021年



《土塊》陶 | 2020年 | 20x15x17cm

「うつろのかたち—市野雅彦・陶展UTUWA」  
パラミタミュージアム、三重 | 2016年

《開》陶 | 1995年 | 日本陶芸展 大賞・秩父宮賜杯

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [担当: 八木・灰田] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com www.artcourtgallery.com

© ACG プレスリリース - 展覧会開催のご案内 -



OAP彫刻の小径2022-2024

## 市野雅彦・坪田昌之 「Twist」

OAP Sculpture Path 2022-2024: *Masahiko Ichino and Masayuki Tsubota "Twist"*

## ◆ 坪田昌之 Masayuki Tsubota

坪田昌之は、人間の内にある根源的なものと対話する力、またそれを呼び起こす事をテーマに、モダニズムと手仕事のぬくもりが融合した彫刻作品を数多く制作しています。かたちと色、質感の組み合わせがもたらす感覚の変化に深い関心を寄せ、木や石、金属、顔料など、人類が古くから用いてきた素材をもとに、色彩・形・陰の組合せにより「振動」を知覚化させるシリーズや、彫り出しの強弱を巧みに調和させたテクスチャーで「風」を表現するシリーズなど、鑑賞者の身体感覚に働きかける独自の造形を展開しています。また、人と自然とを繋ぐ彫刻制作のみならず、作品と共に空間を演出するアートプロデュースも手掛けています。

1976 大阪生まれ

2001 大阪芸術大学大学院芸術制作研究科彫刻修了

## ■ 近年の主な個展

2022 H - art Beat gallery (東京) ['20, '18, '15]

2021 ギャラリー島田(兵庫) ['05]

2020 Gallery MOE(熊本)

2019 福住画廊(大阪)

2018 Whitestone Gallery(東京 / 長野 / 台北、台湾)

2016 山本美術(大阪) ['15,'14,'11,'09,'06]

ギャラリールネッサンス・スクエア(兵庫)

2015 Gallery LVS(韓国)

COHJU Contemporary Art(京都) ['11]

2014 The Tolman Collection Tokyo(東京)

2013 Maek Hyang Gallery(韓国)

INSA Gallery(韓国)

2011 NIKIギャラリー冊(東京)

2010 ギャラリーファインアート(大阪)

信濃橋画廊(大阪) ['05,'02]

2009 ファエンツァ市庁舎(イタリア)[エミリアローマニャ州公式行事・10月日本祭]

2006 BOUTWELLDRAPER GALLERY(オーストラリア)

## ■ 近年の主なグループ展

2021 「INTERMIXTURE Vol.2」Whitestone Gallery H Queens(香港)

2019 「OAP彫刻の小径2019-2021 坪田昌之・竹内鉦三“Axis”」(OAP公開緑地内、大阪)

2017 「原田の森ギャラリーリニューアルオープン展-ひょうごから世界へ-」

兵庫県立美術館王子分館・原田の森ギャラリー

2016 「色」松下康平・A-Taro・坪田昌之」ISETAN The Japan Store KL(マレーシア)

2015 「ASYAAF」(Asian Students and Young Artists Art Festival) 招待作家、

CULTURE STATION 284[旧ソウル駅](韓国)

2012 「Maximal Minimalists」LVS gallery(韓国)

「七人のサムライ展」山本美術(大阪)／斎藤画廊(名古屋)／D+5 gallery Fukuda gallery(新潟)

「Biennale International Casablanca」(モロッコ)

「Made in Japan」HD Riudebitlles i Ajuntament de Sant Pere de Riudebitlles(スペイン)

2011 「メイド イン ジャパン 坪田昌之・カトウ カオリ2人展」ユートピア アート シドニー(オーストラリア)

2010 「坪田政彦・内田鋼一・坪田昌之 3人展『語りかける色とかたち』」中野邸美術館／福田画廊(新潟)

## ■ 主な作品設置

株式会社ダイセル イノベーションパーク(兵庫)／シスメックス株式会社テクノセンター・中央研究所(兵庫)／

トヨタ日進研修センター(愛知)／三井住友海上火災保険株式会社・淀屋橋ビル(大阪)／UBS銀行東京支店／

株式会社リクルート 大阪支社 渡辺リクルートビル(大阪)／読売新聞和歌山支局／JAL CITY 那覇(沖縄)／

フォーシーズンズホテル東京大手町／ヒルトン東京／ホテルニューオオタニ(東京)／

ホテルブライツシティ大阪北浜(\*全館プロデュース)／インターコンチネンタルホテル大阪／

東京ガーデンテラス紀尾井町／OPUS Arisugawa(東京)／大手町パークビルディング(東京)／

アトラスタワー六本木(東京)／湯の山温泉 素粋居(三重)／The HIM Collection(シンガポール)／

南港 City Link Office Building(台北、台湾) 他 多数



《The wind of self》2019年

白大理石(漢白玉) | 100 x 130 x 25 cm

株式会社ダイセル イノベーションパーク(兵庫) | 撮影 多田雅樹



《The layer of self -v47》

2018年 | 58.5 x 23 x 20.5 cm

ジェッソ、顔料、アクリル、木



《the core of self\_nhts》

2015年 | 61 x 7 x 7 cm

ジェッソ、岩絵具、バスマッド

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [ 担当: 八木・灰田 ] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com www.artcourtgallery.com